

平成28年6月15日発行(毎月1回15日発行)第43巻 第6号 通巻496号 昭和50年7月4日第3種郵便物認可 ISSN 0285-5062

冷凍空調設備 6

REFRIGERATION & AIR-CONDITIONING CONTRACTORS

Vol.43 No.6
2016 June

法人化 40周年記念特集号

 一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会

日設連青年部会の発足と今後



日設連青年部会 部会長 津福 一宏
(津福工業㈱ 代表取締役社長)

1. スタート

青年部会は、発足後7年が経過いたしました。そのきっかけは、平成18年3月2日、機械振興会館で開催されました日設連30周年記念事業として企画された全国から若手経営者を集めての「座談会『冷熱産業界の夢を語る～若手・次世代経営者に聞く～』」でした。

当時、業界を取り巻く環境は、たいへん厳しいものがあり、若い世代の経営者が、将来展望を描けないのではないかと、また先細り感のある業界には、人材が集まらないのではないかと、という危機感がありました。

しかし、全国の業界団体を代表して集まった10名のメンバーは、それぞれの創意工夫で、社内改革を実行し、選択と集中をすすめ、また業界内での立ち位置を変え、着実に成長しようとしていました。

そのような精鋭たち(先輩のことです)が集まった懇親会は、初対面のメンバーにもかかわらず、大いに盛り上がり、その中から、日設連事務局へ提案ができました。

香川からきていた三宅産業の三宅慎二社長(当時 常務取締役)が、「せっかくこうして集まったのもなんかの縁でしょう。青年部会をつくって、定期的集まれるようにしたらどうですか?」との言葉。その発言は、参加者全員の共感を呼び、青年部会設立の機運が高まったのでした。

しかし、事務局も多忙。そのうち、そのうちと考えられながらも、目先の仕事ではない、同意を得るハードルも高い青年部会設立構想は、後へ後



30周年記念座談会の模様

へ追いやられていました。

青年部会構想は、忘れ去られようとしていました。が、しかし、忘れていない人がいました。鹿児島から参加していたロイヤルテックの鎌田正司社長から、事務局の大沢勉事務局次長(当時 副部長)が鹿児島に行った際、「青年部会の件は、どうなったの?」の催促。事務局があわてたかどうかは、定かではありませんが、構成団体メンバーからの強い後押しがきっかけとなり、構想から2年近く経った平成19年11月15日開催の第81回理事会の承認を得て座談会のメンバーを中心とした設立準備委員会が発足しました。

2. 設立準備委員会

設立準備委員会のメンバーは以下のとおりです。

設立準備委員会の第1回会合は、平成20年4月14日に開催、①青年部会の目的・位置付け

この10年を振り返る

(役職名は当時のもの)

	氏名	構成団体	会社名・役職名
1	吉田 喬一	北海道	(株)北冷製作所 代表取締役
2	菅野 智	宮 城	(有)協和エアコン 代表取締役
3	積田 鉄也	埼 玉	積田冷熱工事(株) 代表取締役
4	三森 敏雄	東 京	三森商事(株) 常務取締役
5	相川 守	静 岡	(株)平和エアテック 代表取締役
6	片山 裕彦	近 畿	(株)サム冷房社 取締役技術部長
7	蔵田 泰明	中 国	(株)クラタコーポレーション 取締役社長
8	三宅 慎二	香 川	三宅産業(株) 常務取締役高松支店長
9	津福 一宏	西日本	津福冷機工業(株) 企画営業室長
10	鎌田 正司	鹿児島	(有)ロイヤルテック 代表取締役
オブザーバー			
11	古世古 収	副会長、経営・企画委員長	
12	吉川 慧	専務理事	
13	澁谷 直衛	理事、経営・企画委員会委員	

- ②青年部会規程、運用細則 ③青年部会の名称
④設立までのスケジュール ⑤事業計画と予算
等について議論しました。

以後、メール等で議論・審議し、同年3月27日開催の第82回理事会において、「日設連青年部会」の設立と規程類が承認されました。

3. 第一回青年部会総会

そして、いよいよ平成20年6月6日、第一回日本冷凍空調設備工業連合会青年部会総会が、機械振興会館にて執り行われました。

設立総会では、青年部会の設立趣意書、規程の承認、役員を選出が行われました。

初代部会長には、北海道の吉田社長（北冷製作所）が、その任にあたられることになりました。

設立時は、北海道から沖縄までの代表、29名の構成員となりました。

これを機に青年部会は、全国構成団体に、着々と、青年部会発足に向けての活動が始まったのでした。



設立総会の模様

日設連青年部会設立趣意書	
2008.6.6 日設連青年部会	
1. 経緯	(社)日本冷凍空調設備工業連合会(日設連)は、平成18年3月に社団法人化30周年を迎え、その記念行事の一環として「若手・次世代リーダー」による研究会「次世代リーダーの夢を語る」を実施。全国10ブロックから10名の若手・次世代リーダーが一堂に集し、白熱した議論となった。その中から自発的に「青年部会」の発足の議題が持ち上がり、平成18年11月に、この10名を中心とした「日設連青年部会設立準備会」を発足させ、検討してきた。
2. 背景	冷凍空調設備業界は、社会工場の減少、景気回復の低迷などにより、非常に厳しい状況にある。このような業界の厳しい状況下で、生き残り、発展し、成長していく。業界の存続に努め、情熱を持ち、それらを実現していくべき次世代のリーダーによる「夢を語る」の行方提案、について語りあっていた。また、同世代の同じような立場の者たちが集まり、全国的なネットワーク(人脈)を構築することで、いろいろな悩み、問題を解決している。さらに、新たな事業展開を模索している。次の業界を担う者が、この業界に情を思い、情を寄せ、何をしようとしているのか。次のようなことが実現できる自由闊達な意見交換ができる場には必要であり、時代の要求でもあった。
3. 目的	本部会は、日設連の事業活動に協力するとともに全国の青年部会との情報交換・相互交流を促す。また、業界の発展に資する「経営者層、業界を担う若手次世代の結集」を促す。また、業界の発展に資することを目的とする。
4. 事業	(1) 日設連の事業活動に協力。 (2) 若手経営者層、次世代を担う会員相互の経営及び技術の向上。 (3) 情報交換を促す全国的・全国的な活動の推進。 (4) 青年部会発足後の日設連(以下、情報誌)という1への情報交換。 (5) 業界の中長期の方向性の検討。 (6) その他、目的を達成するための事業。
5. 設立準備会	北海道：(株)北冷製作所 代表取締役 ① 吉田 喬一 宮 城：(有)協和エアコン 代表取締役 ② 菅野 智 埼 玉：(株)サム冷房社 代表取締役 ③ 積田 鉄也 東 京：(株)三森商事 常務取締役 ④ 三森 敏雄 静 岡：(株)平和エアテック 代表取締役 ⑤ 相川 守 近 畿：(株)サム冷房社 取締役技術部長 ⑥ 片山 裕彦 中 国：(株)クラタコーポレーション 取締役社長 ⑦ 蔵田 泰明 香 川：(株)三宅産業 専務取締役 ⑧ 三宅 慎二 西日本：(株)津福冷機工業 企画営業室長 ⑨ 津福 一宏 鹿児島：(有)ロイヤルテック 代表取締役 ⑩ 鎌田 正司

設立趣意書

日設連青年部会構成員名簿						
順 号	職 名	氏 名	会 社 名	役 職 名	年 齢	構 成 団 体 名
1	部 会 長	吉田 喬一	(株)北冷製作所	代表取締役	47	北海道
2	副 部 会 長	三森 敏雄	三森商事(株)	常務取締役	48	東 京
3	副 部 会 長	片山 裕彦	(株)サム冷房社	取締役	36	近 畿
4	副 部 会 長	津福 一宏	津福冷機工業(株)	企画営業室長	29	西日本
5	理 事	菅野 智	(有)協和エアコン	代表取締役	47	宮 城
6	理 事	積田 鉄也	積田冷熱工事(株)	代表取締役	39	埼 玉
7	理 事	中野 孝聖	中野精工(株)	代表取締役	45	東 京
8	理 事	三宅 慎二	三宅産業(株)	専務取締役	45	香 川
9	理 事	豊田 太一	豊田冷機工業(株)	代表取締役	40	愛 知
10	理 事	奥本 昭一郎	(有)彦崎冷凍設備工業所	代表取締役	44	宮 崎
11	理 事	鎌田 正司	(有)ロイヤルテック	代表取締役	47	鹿児島
12	監 事	相川 守	(株)平和エアテック	代表取締役	45	静 岡
13		小山内 真	(有)中山内機器	専務取締役	31	香 川
14		窪田 昌一	窪田三菱電機機器販売(株)	代表取締役	38	秋 田
15		井上 豊雄	(株)新和器機	代表取締役	49	山 形
16		佐 雅樹	大東コールドチェーン(株)	常務取締役	38	福 島
17		清田 芳幸	(株)清田工業	専務取締役	44	茨 城
18		佐々木 浩	新本冷機工業(株)	専務取締役	38	鹿 野
19		狩野 聡	日本冷蔵(株)	専務取締役	40	群 馬
20		中野 孝聖	ソニック設備工業(株)	取締役	58	千 葉
21		浜田 茂樹	浜田冷凍(有)	代表取締役	33	神 奈 川
22		山本 勉	新源機機(株)	常務取締役	35	新 潟
23		立花 武一	立花冷機(株)		38	富 山
24		石川 陽夫	石川工機(株)	専務取締役	41	岐阜
25		三橋 晃治	三晃製作(株)	取締役専務	43	中 部
26		田辺 元幸	ダイワ空調設備(株)	常務取締役	37	三 重
27		天満 栄三	天満冷凍(株)	代表取締役	40	中 国
28		津々木 克介	日本冷蔵(株)	専務取締役	32	廣 島
29		伊波 英道	アグダ空調食品設備(株)	代表取締役	49	沖 縄

構成員名簿(設立時)



左から片山副部長、吉田部長、津福副部長

(設立時の部長、副部長)

- 部長 吉田 喬一 (北海道：(株)北冷製作所)
副部長 三森 敏雄 (東京：三森商事(株))
副部長 片山 裕彦 (大阪：(株)サム冷房社)
副部長 津福 一宏 (福岡：津福工業(株))

4. その後の活動

青年部会は、毎年1回の総会および毎年2回の理事会を開催し、着実に活動の輪を拡げています。

とくに、総会の中で行われる意見交換では、テーマをいくつかにしぼり、7～8名程度の少人数でディスカッション(フリートーク)を実施しています。各地域の特色や商慣習などの情報が共有され、地域での業界活動、また会社での取り組みが熱く語られています。

そこで出た取り組みや事例は、参加メンバーが確実に各地へ持ち帰り、全国へ拡がり、実行することによって、たくさんの成功事例となっています。

また、同じ業界で活動している者同士、似たようなことで、考えに詰まっていたり、悩んでいたりにしています。その解決のヒントを得て、地元にもどるメンバーも数多くいます。

社団法人日本冷凍空調設備工業連合会青年部会規程	
(名称)	第1条 本部会は、社団法人日本冷凍空調設備工業連合会青年部会と称する。(以下、本部会という)
(目的)	第2条 本部会は、社団法人日本冷凍空調設備工業連合会(以下、日設連という)の事業活動に協力するとともに全国の青年経営者との情報交換・相互交流を深め、また、業界の将来に明るい展望を播き、業界を担う青年経営者の知恵を凝めて、もって、業界の発展に寄与することを目的とする。
(事務所)	第3条 本部会の事務所は、日設連事務局内に置く。
(事業)	第4条 第2条の目的を達成するために以下の事業を実施する。 (1) 日設連の事業活動に協力。 (2) 若手経営者等、次世代を担う会員相互の経営及び技術の向上。 (3) 情報交換を促す全国的・横断的なネットワークの構築。 (4) 青年部会未組織の日設連正会員(以下、構成団体という)への組織化支援。 (5) 業界の中長期的な方向性の検討。 (6) その他、目的を達成するための事業。
(会員)	第5条 本部会の会員は、正会員と準会員とする。 2 正会員は、構成団体内に組織する青年部会またはこれに準ずる組織とする。 3 準会員は、前項に規定する組織がない構成団体とする。
(入会)	第6条 本部会の会員になろうとする者は、別に定める入会申込書を部会長に提出しなければならない。
(役員)	第7条 本部会に、次の役員を置く。 (1) 理事 10人以上15人以下 (2) 監事 1人又は2人 2 理事のうち、1人を部会長、1人以上3人以内を副部会長とする。
(選任)	第8条 理事及び監事の選任は、総会において会員から推薦を受けた者のうちから選任する。 2 部会長及び副部会長は、理事会において理事の互選により定める。
(任期)	第9条 役員の仕事は2年とする。ただし、再任は行わない。
(説明・相談)	第10条 本部会には、顧問及び相談役を置くことができる。

(会則)	第11条 本部会の会則は、総会及び理事会とする。
(構成)	第12条 総会は、会員から推薦を受けた者をもって構成する。 2 理事会は、理事及び監事をもって構成する。
(定款・議決)	第13条 総会及び理事会は、構成員の過半数の出席をもって成立し、出席者の過半数をもって議決する。 2 構成員は、あらかじめ承認された議案について、書面または代理人をもって表決することができる。
(委員会)	第14条 本部会は、事業の円滑な進行を図るため、理事会の承認を得て、委員会を設けることができる。 2 委員長は、部会長が選任する。委員は、委員長が選任する。
(費用)	第15条 本部会の運営・活動費用は、日設連の理事会の承認を得て、日設連の会計より支出する。
(事業年度)	第16条 本部会の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日とする。
(事業計画及び収支予算)	第17条 本部会が事業活動を行うにあたり、毎事業年度開始前に事業計画書及び収支予算書を作成し、総会の議決を得て、日設連の理事会の承認を受けるものとする。
(事業報告及び収支決算報告)	第18条 本部会は、毎事業年度終了後、事業報告書及び収支決算書を作成し、総会並びに日設連理事会に報告する。
(規程の改定)	第19条 本規程の改定は、理事会の議決を得た後、日設連の理事会の承認を得て行う。
(部会の存続)	第20条 本部会の存続は、日設連の理事会の承認を得て、これを行う。
	第21条 本規程に定めのない事項は、日設連の理事会の承認を得て、部会長が定める。
附則	1. 本規程は、平成20年4月1日より施行する。

青年部会規程

この10年を振り返る



第5回総会時の意見交換 (H25.6.27)



座談会の様子

全国の仲間の活動を通じて、自分の見ている世界を再俯瞰し、事業活動により深みを増し、より積極的に取り組み、ひいては、業界活動を活性化することにつながっています。

いまでは、総会に参加するメンバーを中心に、地域間合同視察研修や合同交流会も活発に開催されるようになり、青年部会の活動が、ますます活発になってきています。

設立5周年には、5年間を振り返っての座談会を平成25年6月27日開催の第6回理事会時に開催。テーマは「あれから5年、これから5年」とし、「5年前の自分」、「5年前に思っていた5年後の今の比較」、「さらに5年先の展望」等について意見交換を行った。設立時とはメンバーも入れ替わり、業界環境も変化する中、大いに気づきのある、充実した座談会となりました。この頃を境に、全国構成団体に青年部会の組織化を強くお願いする機運が高まっていきます。(座談会の内容は「冷凍空調設備」2013年11月号に掲載)

また、会合は、年1回の総会と年2回の理事会、不定期に正副部会長会を開催しています。総会は東京で開催、理事会は1回は総会の前に東京で、もう1回は、地方で開催することとしています。理事会を地方で開催することにより、その地区の青年部の方々と意見交換、懇親を深め、同時に、施設見学等を行い、見聞を広めています。

第4回理事会では、福岡にある柴田溶接工作所のショールームを見学、第7回理事会では、宮城県の上地区等の被災地を視察しました。また、第9回理事会では、広島県冷凍空調工業会の青年部会設立総会に出席し、交流を深めました。



近冷工Jクラブとの意見交換 (第2回理事会)



柴田溶接工作所ショールーム見学 (第4回理事会)



被災された上地区視察 (第7回理事会)



広島平和記念資料館にて（第9回理事会）



沖縄青年部会との意見交換（第11回理事会）

総会		
設立総会	H20.6.6	東京
第1回	H21.6.26	東京
第2回	H22.6.18	東京
第3回	H23.10.7	東京
第4回	H24.6.28	札幌
第5回	H25.6.27	東京
第6回	H26.6.25	東京
第7回	H27.6.24	東京

理事会		
第1回	H21.6.26	東京
第2回	H21.11.20	奈良
第3回	H22.6.18	東京
第4回	H22.11.25	久留米
第5回	H23.10.27	東京
第6回	H25.6.27	東京（座談会）
第7回	H25.10.7	多賀城
第8回	H26.6.25	東京
第9回	H26.11.18	広島
第10回	H27.6.24	東京
第11回	H27.11.12	那覇

さらに、第4回総会では、初代部会長の吉田氏の地元で、部会長最後の総会でもあり、札幌で開催しました。

5. 青年部会の拡がり

こうして着実に、全国に仲間を増やしていった青年部会でしたが、平成24年、日設連が一般社団法人に移行する際、組織の大幅な見直しが行われ、日設連としても「青年部会重視」の姿勢を鮮明にするため、日設連の中に、「青年部会育成委員会」が組織され、構成団体での青年部会の組織化が加速します。

日設連青年部会設立当時は、12構成団体に青年部会が組織化されていましたが、現在では、21の構成団体が組織化しており、現在組織化に向けて検討している構成団体が、9団体あります。合わせて30構成団体が組織化、あるいは組織化の動きがあります。

このように、各地の青年部会が、それぞれ活発

平成27年度日設連青年部会構成員・役員

役職名	氏名	会社名	役職名	所属団体名
1 部会長	津権 一宏	津権工業(株)	代表取締役	西日本
2 副部会長	片山 悠彦	(株)サム冷房社	代表取締役	近畿
3 副部会長	植田 鉄也	植田冷蔵工事(株)	代表取締役	埼玉
4 理事	佐々木 洋	ササキ冷蔵工業(株)	専務取締役	宮城
5 理事	五 龍樹	大東コールドチェーン(株)	代表取締役	福島
6 理事	光永 佳仁	セイコー産業東京(株)	取締役	東京
7 理事	浜田 茂樹	浜田冷凍(有)	代表取締役	神奈川
8 理事	立花 武一	立花冷蔵(株)	代表取締役	富山
9 監事	天路 栄至	天路冷凍(株)	代表取締役	中国
10 構成員	菅村 泰介	(株)カス設備	代表取締役	岩手
11 構成員	岡田 謙一	慶明三菱電機機器販売(株)	代表取締役	秋田
12 構成員	藤原 晃	(株)ワタナベ冷暖サービス	代表取締役	山形
13 構成員	清田 芳幸	(株)清田工業	専務取締役	茨城
14 構成員	狩野 竜	日本冷蔵(株)	専務取締役	群馬
15 構成員	中屋 充弘	ソニック設備工業(株)	取締役	千葉
16 構成員	山本 勉	新潟冷蔵(株)	常務取締役	新潟
17 構成員	内沼慎市郎	(有)ウチカタ冷暖サービス		石川
18 構成員	石川 勲美	石川鉄工(株)	専務取締役	岐阜
19 構成員	浅原 将典	(株)シンエー	代表取締役	静岡
20 構成員	三浦 晃雄	三興冷字(株)	取締役専務	中部
21 構成員	田辺 元幸	ダイワ空調設備(株)	代表取締役	三重
22 構成員	板東原 一郎	大和空調(株)	代表取締役	徳島
23 構成員	水村 和宏	(有)KAZU空調	代表取締役	香川
24 構成員	富士原 裕	富士寒冷(株)	代表取締役	愛媛
25 構成員	津々木 克介	日本冷蔵(株)	専務取締役	高知
26 構成員	黒本 洋	(有)那珂冷凍設備工業所	取締役	宮崎
27 構成員	藤元 裕	大和冷蔵(株)	代表取締役	鹿児島
28 構成員	久森 将彦	南西空調設備(株)	代表取締役	沖縄

現在の構成員・役員



この10年を振り返る

に活動をすすめてきています。

今後、全国に青年部会が組織化され、情報共有・技術交流がすすみ、日設連青年部会メンバーという一つのブランドにも似たクオリティをもてるような組織になっていきたいと考えています。

日設連青年部会メンバーであれば間違いない、と言われるような存在になれるよう、日々研鑽です。

6. 現在の状況と今後について

このように、日設連青年部会は、設立後7年を経過し、全国33の構成団体に、21の青年部会が

組織されるようになりました。

まずは、全国に青年部会が設立されることを、当面の目標に掲げています。

業界の地位向上し、業界内外にとって魅力ある業界になるために、それぞれが持つ力は小さくとも、全国の会員の力を合わせれば、大きな流れ、大きな動きをつくることができます。

若い力を最大限に発揮し、『日設連青年部会』が一つのブランドとして、ひとり歩きするような、そんな団体となれますよう、切に願い、これからの活動に努めていきたいと考えています。